



2020年6月30日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディコミュニケーション センター

ドイツ本国発表資料

新型 Audi Q5：ベストセラーモデルが大幅に進化

- Qモデルのアイデンティティを強化し、さらにシャープなデザインを採用
- 新しいデジタルOLEDテクノロジーを備えたリヤコンビネーションライト
- 新しいMMIタッチコントロール
- 特別限定モデルの「エディション1」を設定

2020年6月29日、インゴルシュタット：Audi Q5は、ヨーロッパ市場のプレミアムミッドサイズセグメントにおいて、何年にも渡ってベストセラーSUVの1台であり続けています。今回、このモデルに大幅なアップデートが施され、さらに魅力的なモデルへと進化を遂げました。新型Audi Q5は、スポーティなキャラクターと日常ユースにおける優れた利便性を融合し、幅広いインフォテインメント及びアシスタンスシステムのオプションを特徴としています。大きな成功を収めたこのモデルのエクステリアデザインは、Qモデルのアイデンティティを強化してさらにシャープになり、世界で初めてデジタルOLEDテクノロジーによるリヤコンビネーションライトを採用しています。

エクステリアデザイン：アウディの「Q」デザイン言語をさらに進化

Audi Q5のエクステリアの特徴は、パワー、堅牢性、安全性を表現した力強い「Q」アイデンティティです。エクステリアデザインのアップデートにおいて、アウディのデザイナーは、独自のディテールによって、このニューモデルのスタイルと存在感をさらに強化することに成功しました。八角形のシングルフレームは、よりフラットで幅広い形状に変更されています。高さを増したサイドインテークには、台形をモチーフにしたデザインが採用されています。LEDヘッドランプの上部には、新しいライトシグネチャーを備えたデイトタイムランニングライトが組み込まれています。サイドビューを見ると、デザインが見直されたシルインサートにより、最低地上高が上がり、視覚的により軽快な印象を与えます。リヤエンドのハイライトは、左右のライトクラスターを繋ぐ新しいトリムエレメントと、水平フィンを備えた新しいディフューザーインサートです。標準仕様に加えて、2種類のデザインラインもオプション設定されています。アドバンスラインには、シングルフレームのクローム仕上げ垂直リブ、ブラックの代わりにシルバーを採用したフロントバンパー及びリヤバンパー下のアンダーガードが装着されます。Sラインは、シングルフレームのスポーティなハニカムグリル、リヤディフューザーのクロームストリップフレームから構成されています。

12色が用意されたボディカラーのうち、ディストリクトグリーンとウルトラブルーは新色です。オプションとして、ブラックトリムパッケージも用意されています。

インテリアデザイン：軽快なタッチとファーストクラスの品質

水平基調のインテリアデザインは、広々として軽快な雰囲気を生み出しています。彫刻的な造形のエレガントなトリムインレイが、ダッシュボードの上部セクションと下部セクションを分割しています。インテリアのハイライトは、音響フィードバック付きの新しいMMIタッチディスプレイです。以前にはセンターコンソールに設置されていたロータリー/プッシュコントロールは廃止され、新型ではその場所に収納スペースが設けられています。

インテリアは、標準仕様、デザインセレクション、Sラインの3タイプから選択可能です。これらは、エクステリアトリムパッケージと自由に組み合わせることができます。デザインセレクションを選択すると、様々な照明効果により、アウディの特徴となっている優れた仕上げ品質をさらに高める、コンツァー/アンビエントライティングパッケージが装備されます。

世界初：リヤライトに採用されたデジタルOLEDテクノロジー

アップデートが施されたAudi Q5には、次世代のOLED照明テクノロジーが初採用されています。OLEDは、均一な光面を生成する非常に効率的な有機発光ダイオードです。オプションのOLEDリヤライトは、6つのセグメントから構成される3つのタイルに分割されています。これにより、アウディのデザイナーと開発者は、同一のハードウェアを使用して、異なるライトデザインとシグネチャーを生み出すことができるようになりました。

アウディの開発部門で“ライトイノベーション”の責任者を務めるステファン ベルリッツは、次のように説明しています。「デジタルOLEDの利点は、完全なコントラストに加えて、均質性が高く、セグメント間のギャップを最小限に抑えることができる点です。将来的に、デジタルOLEDは、高い精度と幅広い可変性を備え、パーソナライズされたライティングデザインを実現するための完璧なテクノロジーとなるでしょう。このテクノロジーは、幅広い開発の可能性を提供してくれます」

お客様は、Q5を注文する際に、3種類のリヤライトシグネチャーの中から、好みのデザインを選択することができます。それぞれのライトシグネチャーは、独自のカミングホーム/リービングホームデザインを備えています。アウディドライブセレクトのモードを“ダイナミック”に切り替えると、ライトがさらに別のシグネチャーに切り替わります。OLEDリヤコンビネーションライトは、近接検知機能も装備しています。他の道路ユーザーが、停止しているQ5の後方から2メートル以内に近づくと、すべてのOLEDセグメントが点灯します。Q5が動き始めると、元のライトシグネチャーに戻ります。さらに、OLEDリヤライトを搭載した全モデルには、ダイナミックターンインジケーターが装備されます。Audi Q5には、LEDヘッドライトが標準装備され、マトリクスLEDヘッドランプがオプション設定されています。マトリクスLEDヘッドランプのインテリジェントなアダプティブハイビームは、他の道路ユーザーを眩惑することなく路面を明るく照らし、より高い安全性と利便性を提供します。

広々として多用途：寸法及びインテリアスペース

デザインが見直されたAudi Q5は、より大型のバンパーを採用したことにより、全長が19mm長くなり4.86mとなっています（注：日本仕様は現行車も同じ全長）。全幅（ドアミラーを除く）は1.89m、全高は1.66mで変更はありません。2.82mの長いホイールベースは、広々としたインテリアの基盤となっています。オプションとして、前後にスライド可能で、背もたれの角度を調整できるリヤシートが用意されています。このリヤシートを装着した場合のラゲッジスペースは、520~1,520ℓです。折りたたみ式の可変フロアマットは標準装備されており、オプションでパワーテールゲートを選択することもできます。そのインテリジェントな素材の組み合わせにより、Q5はセグメントで最軽量クラスのボディシエルを実現しています。Cd値は、クラス最高レベルの0.30です。洗練された空力音響特性により、非常に静かなインテリアが創出されています。

コントロール、インフォテインメント、Audi connect：ファーストクラスのコネクティビティ

アップデートが施されたAudi Q5の新しい制御ユニットは、先代のMIB 2の10倍の処理能力を持つ、第3世代のモジュラーインフォテインメントプラットフォーム（MIB 3）をベースにしています。

標準仕様には、真ん中にドライバーインフォメーションシステムを備えた従来型のメーターパネルが装備されます。最上位バージョンとして、3種類の異なるグラフィックレイアウトを備えた、高解像度12.3

インチディスプレイのオーディオバーチャルコックピットプラスが用意されています。ドライバーは、マルチファンクションステアリングホイールを介してディスプレイを操作することが可能です。オプションで、ヘッドアップディスプレイを装着することもできます。

Q5 には、ダッシュボードの中央に 10.1 インチ MMI タッチディスプレイが標準装備されます。このディスプレイは、フラットなメニュー構造により、非常に使いやすく、フリーテキスト機能を使用して検索することができます。ドライバーは、文字を手で入力するか、ボイスコントロールシステムを介して入力するかを選択できます。「Audi connect ナビゲーション&インフォテインメント」を含む MMI ナビゲーションプラス インフォテインメントシステムを組み合わせると、ボイスコントロールシステムはクラウドにアクセスできるようになり、さらに高度な情報を得ることができます。

Audi connect オンラインサービスは、Audi Q5 とインターネット及び交通インフラを接続します。ナビゲーションシステムは、Google Earth からの高解像度の衛星画像に加えて、レーンごとの交通の流れや、交通渋滞予測に関する情報を提供します。DAB+デジタルラジオが標準装備される一方で、Amazon Alexa (アレクサ) サービスを利用すると、何千もの Alexa スキルにアクセスすることができます。Audi connect が提供する Car-to-X サービスは、よりリラックスした運転を可能にします。例えば、道路沿いの空き駐車スペースを見つけたり、信号機と通信して、可能な限り信号を青で通過するための情報を取得したりすることもできます。myAudi アプリは、ユーザーのスマートフォンとクルマを接続します。

このアプリを使用すると、頻繁に利用するナビゲーションの目的地から、シート位置、好みの空調設定に至るまで、様々な個人設定を 6 つのユーザープロフィールに保存できます。これらのデータはクラウド内の myAudi カスタマーポータルに保存され、この機能に対応した車両において、認証済みのユーザーが利用できます。

駆動システム：力強いパフォーマンスと低燃費を両立

ヨーロッパ市場に最初に導入されるのは、Audi Q5 40 TDI です（複合モードにおける燃料消費量：5.4～5.3ℓ/100km*、複合モードにおける CO₂ 排出量：143～139g/km*）。パワフルな 2 リッター4 気筒ディーゼルエンジンは、150kW (204 PS) の最高出力と 400Nm の最大トルクを発生します。アルミニウム製クランクケースの重さは約 20kg で、以前のエンジンよりも軽量化されています。クランクシャフトも約 2.5kg 軽くなりました。

マイルドハイブリッドシステム (MHEV) は、燃料消費量の削減に貢献しています。ベルト駆動式スタータージェネレーター (BSG) は、コンパクトなリチウムイオンバッテリーが組み込まれた 12V の車載電源システムに電力を供給します。BSG はブレーキエネルギーを回生し、バッテリーを充電します。MHEV システムにより、Audi Q5 はエンジンを停止した状態でコースティング（惰性走行）することが可能で、22km/h 未満の速度でアイドリングストップ機能が作動します。これにより、100km 走行あたり約 0.3ℓ の燃料消費が削減されます。Audi Q5 40 TDI の 0～100km/h 加速は 7.6 秒で、最高速度は 222km/h です。

パワフルなディーゼルエンジンは、効率的であるだけでなく、クリーンなエンジンでもあります。このユニットは、最新の Euro 6d-ISC-FCM 排出基準と EU 6 AP の要件を満たしています。デュアル AdBlue インジェクションを備えた新しい二段階 SCR システムにより、窒素酸化物の排出量が大幅に削減されています。AdBlue (尿素水) は、直列に配置された 2 つの SCR 触媒コンバーターの上流に噴霧されます。今後、さらに多くのエンジンがラインナップに追加される予定です。追加されるエンジンは、さらに二種類の 4 気筒 TDI、V6 TDI、2 リッター4 気筒 TFSI です。プラグインハイブリッドドライブを搭載して好調なセールスを記録した Audi Q5 TFSI e も、2 種類の出力バージョンで再び登場します。

Audi Q5 40 TDI には 7 速 S tronic が組み合わせられ、エンジンパワーを、高い効率を特徴とするウルトラテクノロジー付き quattro フルタイム 4 輪駆動システムに伝達します。このシステムは、通常の走行条件では、すべての駆動力を前輪に送ります。滑りやすい路面やスポーティな走行中に 4 輪駆動が必要になった場合、2 つのクラッチが駆動力を瞬時に後輪に配分します。多くの場合、これは予測的に行われます。これにより、最高レベルのトラクションとパフォーマンスを実現しています。

ランニングギア：さらに優れた快適性と俊敏性

スポーティでありながらも快適。Audi Q5 の大きな強みは、バランスの取れたランニングギアです。フロントとリヤに採用されたマルチリンクサスペンションは非常に軽量で、ハンドリングだけでなく効率も向上しています。速度とステアリングアングルに応じて、減衰率を最大 100% 変化させることができるアウディダイナミックステアリングは、オプション設定されています。

この場合、お客様は 4 つのセットアップオプションから選択できます。標準サスペンションの代わりに、スポーツサスペンションも用意されています。スチールスプリングによる標準サスペンションには、ダンパーコントロールを搭載することも可能です。この機能を搭載すると、快適性重視の設定とスポーティな設定の間で、非常に幅広くサスペンションのセットアップを変化させることができます。ダンパーコントロールに加え、アダプティブエアサスペンションは最低地上高を 5 段階に変化させることができるため、Audi Q5 の SUV キャラクターをさらに強化します。

標準装備パッケージに含まれているアウディドライブセレクトハンドリングシステムは、複数のテクニカルコンポーネントの特性に介入することが可能です。ドライバーは、オフロードとオールロード（エアサスペンション搭載車）を含む、最大 7 つのプロファイルから走行モードを選択できます。ヒルディセントアシスタントは、急な下り坂でドライバーをサポートします。Audi Q5 には、17 インチのアロイホイールが標準装備されます。アドバンストライン及び S ラインには 18 インチのホイールが装着されます。さらに、Audi 及び Audi Sport から提供される、19~21 インチの幅広いホイールデザインを選択することも可能です。

ドライバーアシスタンスシステム：先進的な安全性と快適性

アップデートが施された Audi Q5 には、包括的なアシスタンスシステムも搭載されています。標準装備されるアウディプレセンスシティは、前方車両との衝突を回避したり、衝突後の 2 次被害を軽減したりするシステムです。オプションのターンアシスト、衝突回避アシスト、エグジットワーニングシステムも、総合的な安全性に貢献します。アダプティブクルーズアシストは、長距離走行において、アクセル及びブレーキ操作や車線の維持をアシストしてドライバーの負担を大幅に軽減する一方で、プレディクティブエフィシエンシー（予測効率）アシストは、予測的な運転スタイルをサポートすることで燃料消費量を削減します。

2020 年秋から販売開始

Audi Q5 は、メキシコのサンホセ チアパス工場で生産され、2020 年の秋に世界中の市場に導入されます。ドイツにおける Audi Q5 40 TDI のベース価格は、48,700 ユーロです。

エディション 1：専用デザインと装備を組み合わせた特別限定モデル

Audi Q5 の特別限定モデルである「エディション 1」は、現在事前予約を受け付けています。S ラインエクステリアをベースにしたエクステリアデザインは、ブラックトリムパッケージにより、さらに強化されています。専用のデザインエレメントには、フロント/リヤ/リヤドアのブラック仕上げアウディエンブレム、ブラックルーフレール、ブラックエクステリアミラー、カーボンドアトリムが含まれます。ドアを開くと、アウディリングが LED ライトによって地面に投影されます。装備パッケージには、レッドのブレーキキャリパー、19 インチホイール、スポーツシートも含まれています。ボディカラーは、グレイシ

ャーホワイト、ミトスブラックに加えて、新色のディストリクトグリーン、ウルトラブルーを選択することが可能です。

本文中に掲載されているモデルの燃料消費量：

燃料消費量、CO₂ 排出量、効率クラスに関する情報は、装着されているタイヤ、ホイールなどによって異なります。

Audi Q5 40 TDI：

複合モードにおける燃料消費量：5.4～5.3ℓ/100km

複合モードにおける CO₂ 排出量：143～139g/km

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。